

共生ケア施設としてのコミュニティハウス「ひとのま」の機能と役割

11410190 渡部陽生

研究の背景

困難を抱え、社会から撤退する人々の顕在化が問題となっている。

問題の複雑さから、単独分野の福祉分野のみでは十分な対応ができないケースが増えている。



利用者を限定せず、分野横断的な福祉提供を行う「共生ケア」という新たな福祉サービスの出現

研究の背景

日本の地理学において、共生ケア施設利用者の空間のとらえ方や、利用者同士の相互作用など研究は十分になされていない。



共生ケア施設が困難を抱える人々の居場所となる過程、施設を拠点として外部社会空間へ進出していく過程を明らかにすることが、新たな福祉サービスの進展に必要であると考えられる。

既存研究

欧米の障害の地理学 Conradson (2003)

⇒「ケア空間」保護された空間で他者との交流などを通して形成される社会空間。

Philo et al (2005)

⇒「あいだの空間」保護的な特色を持ちつつ、外部社会とのつなぎとしての機能を持つ。

三浦 (2016)

⇒「ケア空間」「あいだの空間」概念を用い、精神障害者を対象とする通過型グループホームの役割を解明。

研究目的

コミュニティハウス「ひとのま」を対象として、共生ケア施設に生成される「ケア空間」「あいだの空間」の実相を明らかにし、その役割や意義を検討するとともに、地域福祉サービスにおいて共生ケア施設の果たす役割を考察することを目的とする。

研究方法

1) アンケート調査

ひとのま利用者

2) 聞き取り調査

ひとのま利用者

ひとのま代表の宮田氏

3) 参与観察

調査対象概要

コミュニティハウス「ひとのま」

- ・富山県高岡市東上関に所在する二階建ての一軒家
- ・24時間365日鍵を開けており、誰でも利用可能
- ・常駐するスタッフはおらず、代表の宮田氏が月曜、水曜、金曜の日中在中
- ・1日利用料300円



聞き取り調査対象者属性

利用者	性別	年齢	居住地域	職業
A	男	59	ひとのま	無職
B	男	21	ひとのま	アルバイト
C	男	16	高岡市東上関	高校生
D	男	16	高岡市東万葉台	高校生
E	男	20	南砺市城端	会社員
F	女	40代	高岡市一番町	無職
G	女	20代後半	南砺市	無職

ひとのま利用者の分類

- ①社会に出て単身生活を送っていたがトラブルにより居住地を失い、他に行き場がなく利用するケース (A,B)
- ②親や家から離れられる日中の居場所を必要としているケース (C,D,E)
- ③ひきこもりで外出がままならない状況を変える目的を持ち訪れるケース (F)
- ④抱える問題の分野が複数にまたがっており、従来の支援施設で適切な支援が受けられず、社会進出の手段としてひとのまを利用するケース (G)

①、④はひとのまを訪れる当初の目的は外部社会参加。「あいだの空間」としてのひとのまを利用していた。

②、③は「ケア空間」としてのひとのまに期待。外部社会に出ていくことは考えていなかった。



現在、Aを除く6人が外部社会に参加する意思を持っている。利用開始当初の目的に関わらず、社会につながるシステムの存在。

考察

「ケア空間」という位置づけのひとのま

ひとのま代表の宮田氏や、他の利用者達の共感的理解や肯定的配慮を受け、利用者は他者との交流を通じ「ケア空間」が創出される。

様々な困難を抱える人が集まり、共同生活を送る中で、「ケア空間」の否定的な側面をも経験していき、他者への妥協など社会生活に必要なスキルを獲得している。

考察

「ケア空間」から得られる主体性

外出できること、他者との交流、役割を得るなど、社会空間が縮小していた人が、様々な経験を通じて主体性を回復、獲得していく。



「ケア空間」がひとのま利用者に社会に出ていくための自信を与えている。

考察

「あいだの空間」という位置づけのひとのま

- ①多様な利用者層
- ②就業、就学サポート
- ③住宅地に立地

⇒地域社会との隔絶を感じることはなく、早期の社会復帰につながっている。

まとめ

セーフティーネット機能

ひとのま利用者は「ケア空間」で主体性や社会生活を送る上で必要となるスキルを身に着ける。

「あいだの空間」として認識し始め、宮田氏や他の利用者の協力を得ながら、社会へ参加。

辛くなった時などにいつでも戻ってこられる自身の居場所

社会生活を続けていく自信

参考文献

Conradson, D. 2003. *Spaces of care in the city: The place of a community drop-in centre*. *Social and Cultural Geography* 44: 505-525.

Philo, C., Parr, H., and Burns, N. 2005. "An oasis for us": 'in-between' spaces of training for people with mental health problems in the Scottish Highlands. *Geoforum* 36(6): 778-791.

三浦尚子 2016. 精神障害者の地域ケアにおける通過型グループホームの役割—「ケア空間」に注目して—, 人文地理68 : 1-21